

## 単元名 言葉について考えよう

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 主語と述語の関係、修飾語と被修飾語の関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解することができる。
- (2) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えることができる。
- (3) 主語と述語の関係、修飾語と被修飾語との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解し、つながりに気を付けて文章を書こうとする。

## 標準的な展開例

04010305\_001

【教材名】 つながりに気を付けよう

(下 P. 101～P. 104)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 学習の見通しをもち、主語と述語の対応について考える。</p> <p>★つながりに気を付けて、分かりやすく書くポイントを見付けよう。</p> <p>○自分の書いた文章について「分かりにくい」と感じた経験について話し合い、学習課題をつかむ。</p> <p>○主語と述語の対応について考える。</p> <p>○何を修飾しているかを明確にすることについて考える。</p> <p>3 一文の長さについて考える。</p> <p>★文の長さについて考えよう。</p> <p>○例文を読み、一文の長さについてどちらが読みやすいかを考える。</p> <p>○例文を読み、一文にまとめることで分かりやすくなることもあることを知る。</p> <p>4 教科書 (P. 104) の文章を、分かりやすくなるように書き直す。</p> <p>★分かりやすくなるように、書き直そう。</p> <p>○教科書 (P. 104) の文章をノートに書き直す。</p> <p>○どのように直したか友達と伝え合う。</p>	<p>・例文や教師の用意した文の述語を書き直し、分かりやすい文章に直させる。</p> <p>・例文や教師の用意した文に読点を打ったり、言葉の順番を入れ替えたりして分かりやすい文章に直させる。</p> <p>・例文や教師の用意した文を、内容の切れ目で分けたり、省いたり、指示語に置き換えたりすることで分かりやすくさせる。</p> <p>・どう書くと読む人にとって分かりやすいかを考えるようにさせる。</p> <p>【評】 分かりやすい文章について考える活動を通して、言葉のつながりに関心をもち、分かりやすい文章にするための工夫を考える「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・「読む人に分かりやすくなるように」という観点で直させる。</p> <p>【評】 文章を書き直す活動を通して、主語と述語、修飾語と被修飾語の役割について理解する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・どうしてそのように直したか、理由も説明させるとよい。</p> <p>【評】 どのように直したか伝え合う活動を通して、文章を整える「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】